

マネジメント

社会から信頼される 企業経営を続けていきます

高い倫理観と責任感を持った社員を育成し、健全で透明な経営のもと、リスクを管理し、ライフラインの維持・確保に努めます。



コーポレートガバナンスの強化

社会からの信頼に応え、CSRを経営の根幹に据え、継続的に企業価値を高めていくためには、コーポレートガバナンスを有効に機能させることが経営の重要な課題です。

そして、経営の効率性を高め、すべてのステークホルダーからの信頼に応えられる透明性と健全性そして遵法性を確保することを目的に、コーポレートガバナンス体制の強化に取り組んでいます。

取締役会と経営会議

取締役会は会社の重要な業務執行を決定するとともに、取締役の職務執行を監督する役割を担っています。取締役会は15名(うち社外取締役1名)で構成し^{※1}、毎月1回程度開催しています。経営会議は、事業の基本方針、そのほか経営上の重要事項について議論・審議を行い、会社経営の基本戦略を策定し、その円滑な遂行を図ることを目的としています。また、会社の経営上、重要かつ組織横断的な経営課題について必要な検討を行う機関として、経営会議

のもとに委員会を設置しています。

※1 2009年7月1日現在

監査役会

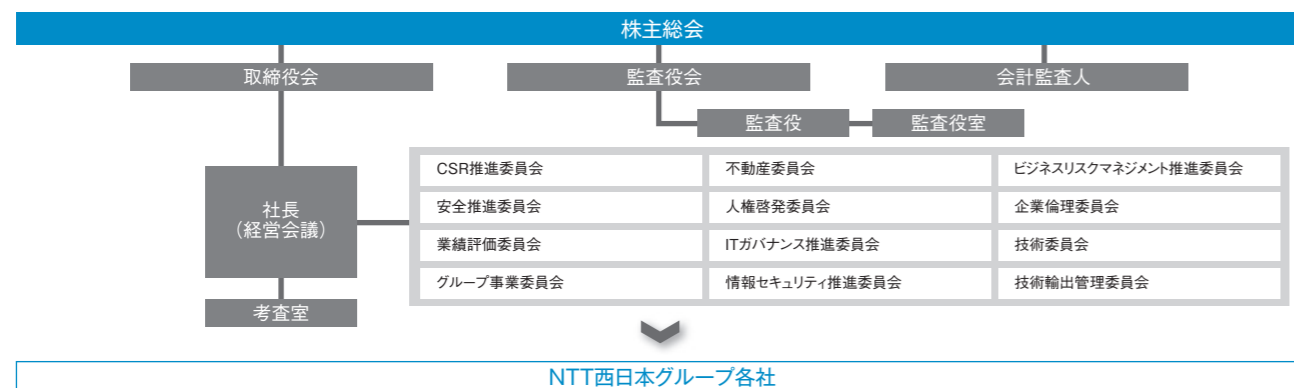
監査役会は計3名(うち社外監査役2名)で構成し、各監査役は取締役会等の重要会議への出席、実地調査などを通じ、業務の執行状況について適宜監査を行っています。

また、監査役の業務をサポートする専任組織として監査役室を設置しています。

内部統制システム

NTT西日本グループでは、法令の遵守、グループの経営上の損失の未然防止と最小化に向けた危機管理、および効率的な事業運営を行い、企業価値を増大することを目的として、内部統制システムを整備しています。なお、業務運用状況の適正性、米国企業改革法第404条に基づく財務報告にかかわる内部統制の有効性等、内部統制システムの整備・運用状況については考査室が検証・評価し、必要な改善を行っています。

▼コーポレートガバナンス体制



コンプライアンスの徹底

NTT西日本グループに所属するすべての者(役員、社員、派遣社員など)が守るべき具体的な行動指針として「企業倫理憲章」を策定し、その徹底に努めています。また、経営に直結した企業倫理を推進するため、経営会議のもとに企業倫理委員会を設置し、本社においては代表取締役副社長、NTT西日本グループ各社においては代表取締役社長を企業倫理委員長に任命しています。

企業倫理の相談窓口

2002年に企業倫理上の問題に関する相談窓口として、「企業倫理ヘルプライン」を設置しました。これは不正・不祥事を発見した場合に、メール・手紙・FAXなどを用いて会社に報告・相談ができる内部通報制度です。

相談窓口は、持株会社が委嘱する社外窓口(弁護士事務所)と社内窓口(NTT西日本グループ各社企業倫理委員会事務局)の2つを設置しています。報告・相談を受けた内容は、企業倫理委員会に報告され、相談者に関する秘密を厳守し、相談者に一切不利益が生じないように配慮された上で、迅速かつ正確な原因究明が実施されます。

2008年度のヘルプライン受付状況は、社外窓口で27件、社内窓口で30件の計57件について受付・回答を実施しました。



企業倫理ポスター

倫理に対する教育・研修

NTT西日本グループ各社社長を含む経営トップ層へのCSRトップセミナーをはじめ、毎年10月を「企業倫理推進月間」とし、企業倫理推進者研修や全社員を対象とした企業倫理研修を行っています。また、毎月15日を「企業倫理の日」としてミーティングなどを実施し、過去に起きた不祥事の具体例を周知・注意喚起することにより、再発防止に努めています。このほか独自に作成した企業倫理ポスターをすべての職場に掲示し、年間を通じた啓発活動に努めています。

また、NTT西日本グループで働くすべての社員(派遣社員等を含む)を対象に、CSR・企業倫理意識調査を行い、社員の意識や実践の傾向を把握し、不正や不祥事の起こらない企業風土づくりに努めています。

企業倫理憲章における4つの視点

- 1 すべての役員及び社員が不正・不祥事を起こさないよう、公私を問わず常に高い倫理観を持って行動する。
- 2 日常の行動を通じて不正・不祥事の予防に努める。
- 3 不正・不祥事を早期に発見し、かつ隠蔽することなく顕在化させる。
- 4 不幸にして不正・不祥事が発生したときは、グループ一体となって公明・正大かつ迅速に対処する。

広告表示審査室を設置

広告表示にかかわるコンプライアンスのさらなる徹底等を図る観点から、「ビジネスリスクマネジメント推進委員会」のもと、2008年6月に広告表示審査室を設置し、広告表示審査制度の運用を行っています。

広告表示に関する社内規程を整備し、広告作成時に事前審査を行うとともに、説明会の開催による人材育成を実施するなど、消費者の皆様に対して、よりわかりやすい広告づくりを行うために取り組んでいます。

Ú É ´ Ý Ĩ Ä

y

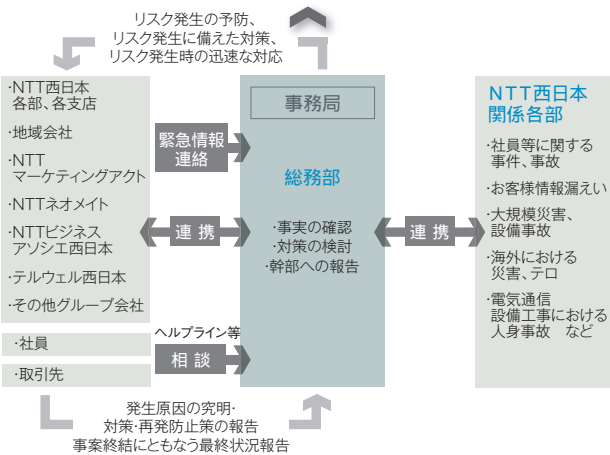
æµ « Ú É ´ Ý Ĩ Ä w § =

y'À & æx' `UhM^†_†sæµ«>x tx'æ
 pS"z æµ«>µtw-`z 'Àq`owp q\$yÚ,
 Lh`oMX\qU Apb{
 y/55bÔŠ-ç"ÓpxzµB••èôÂésrw
 Žææµ«zÀS'|S17ØCwÙQMsrw°ææ
 µ«•w0 >xaŠD©wo φ°wØC·©áæÂ
 Ýsrz /55bÔŠ-ç"Ó> "èX^†_†sĭ'É
 µæµ«tmMoC\`wb"af>èaoM†b{
 hzª°đJUC\`hÔùt<Qz Tm\$-t0r
 b".M>TQžÀÆ^>6% ~' pV'°Oæµ«t
 0b"è'w7-=>\$"sr6Cw-tRŠoM†b{

İ´Éµæµ«•w0

y ÄÀáætè'1>t...bĭ'Éµæµ«&~t g`z
 -ç"ÓÄ"»çq`oJw Tm&-sr>>\$"
 hšzE- píβÖ>»Öq`h @İ´Éµæµ«Ú
 É´ÝĭÄ* •»q w<qt/55bÔŠšpĭçæ>
 ÄçÁqb"İ´Éµæµ«ÚÉ´Ýĭ Ä.Mĭ™`oM
 †b{
 yŠpææS'|§3•-ç"ÓapT'wÓxØCs r
 xzŠpĭçæætÈWUÖ"žpĭçæpxz æq
 wÈ >\$"žĭ>Y-túr`z žAs0fwU|>æ
 Osrz ðJr>t²Zh s0•qms[oM†b{

Q İ´Éµæµ«ÚÉ´ÝĭÄ.M



ØC·©áæÂÝw§=

y/55bÔŠ-ç"ÓpxzS17ØC>xaŠqb"Ø
 C gtmMoØC·©áæÂÝ* ŠæØC·©áæ
 ÂÝ* •»q>fZz55bÔŠ-ç"Ó°.qslh
 "È^ ç¶p»z¶HÄ»t0`Z. ~CÆ^φ°F
 "w.%\$sT<s£ t"·©áæÂÝ->uÃ\$
 t* `oM†b{
 y>tz S17ØC-çtmMoxφq\$Ae>Güt
 ÝÝ`zS17ØCw&Ys "{M}* `oMX\q
 Uz-žQ>b"?>èôÄÄ q`owOGsβq\$
 yçqβQoM†b{

/55-ç"ÓØC·©áæÂÝÜæ³"

/55-ç"Ópxzç"Ó¶.q`owØC·©áæÂÝ
 g.Mw§=>\$" :T'z `á D@/55-ç"Ó
 ØC·©áæÂÝÜæ³"~>f`†`h{

- 1
- 2
- 3

Òé"ÄĭÄ ~äĭ©»µpqtSZ"ØC·©áæÂÝ
 wO AQ>XYÝ`zú ~†¶p(bs`ÚáÇ-"³
 äĭÉç Äè"« ¥wĭ™TRŠz ØC·©áæÂÝw-
 -t "Èæp†M"†b{

ØC>-çb"lqxz /55-ç"ÓwÄÄÆ^w, Šp
 K"z 'Àq`owOAsβq\$yÚpK"lq>/55-
 ç"Óqpwp» ~HÄ"UGütÝÝ`æðwµwk
 xçq"x ØC-φOsw ÈO©s)o`o†
 M"†b{

ØC·©áæÂÝw g.M>T<ØC·wÆYsž
 «µz ØCw æ~_æ-Ûiww-st²ZhúgØz
 ³µÄÜØpwk"s·©áæÂÝ0fwĭªφ»--
 w* zWÆ·w&-s æsØCw-çt²Zhž
 As "È`' \$tĭª`o†M"†b{